

## 令和5年司法試験合格体験記

令和5年度在学中受験(既修コース) 樋口 理一

19期既修の樋口理一と申します。この度、令和5年度の司法試験に合格させていただきました。

私は、大学2年生のときに新設された法曹コースの一期生として未修1年次の基礎科目を履修し、大学を3年で卒業して、ローの既修生として入学、学習をしてきました。365日法律の勉強だけができる環境は、辛いこともありましたが、楽しいことの方が多かったように思います。これもひとえに、先生方、資料室のスタッフの方、先輩方、そして同期のおかげです。本当にありがとうございました。

さて、合格体験記ということですから、私が何を意識して受験生活を送っていたか、ということをお話させていただきます。私が受験生活で考えていたことは色々あります。

生活面では、毎日必ず自習室に行くということを自分に課していました。これは、合格された先輩にお話を聞いた時に、そうしていたということを知り、験担ぎをするとともに、自習室に来れば、結局勉強せざるを得ないため、相対的に勉強時間を稼げると思ったからです。毎日必ず勉強を〇時間する、というより、毎日自習室に来ればよい、という思考は、結果的に勉強に対するハードルを下げ、短期間で合格する足掛かりになったと思います。

勉強面で意識していたことは、なぜ間違えたか、なぜその答えが違うのか、という点を突き詰めることです。早期卒業在学受験という短期間で合格する力を身に着けるためには、一度間違えた問題は二度と間違えないことが重要であると考えていました。そのため、間違った答えや理解をしたときも、なぜそのように考えたのかという自分の思考を整理し、どこでミスしたかを確認しました。このように自分の思考過程を整理して修正する作業は、その問題のみならず類題やいわゆる現場問題を解決するための思考回路を育成するのにも役立ったと思います。

最後に、法曹という職業は、一生が勉強でしょう。これからも周囲の皆様への感謝を忘れることなく、この道を邁進していきます。